

私たちは文化財をとおして  
ゆたかな滋賀づくりに貢献します。



公益財団法人滋賀県文化財保護協会  
設立50周年を迎えました

季刊 **みる・きく・ふれる 文化財**

# おうみ文化財通信

vol. **50**

Information of Cultural Heritage in OHMI

2022 Winter

**【調査速報】**

古墳時代前期のムラの姿がわかった?! - 栗東市 辻遺跡 -

**【展示案内】**

滋賀県立安土城考古博物館 第65回企画展・滋賀県立琵琶湖文化館地域連携展  
「伝教大師最澄と天台宗のあゆみ」

**【展示みどころ案内】**

レトロ・レトロの展覧会「東山道を探る～道沿いの生業」

滋賀県埋蔵文化財センターロビー展示「史跡紫香楽宮跡（内裏野丘陵地区）出土遺物展示」

**【セミナー案内】** 文化財の活用を通じた地域資源化セミナー 6

「文化財の価値を活かす - 民間事業者の視点から」



**【調査速報】**

## 古墳時代前期のムラの姿がわかった?!

- 栗東市 辻遺跡 -



◆写真1 見つかった大型の竪穴建物 古墳時代前期頃の竪穴建物です。一辺約10m、床面積約30坪におよぶ大型建物でした。通常の竪穴建物は一辺が4～5m程度ですから、ほぼ4棟分に当たります。この規模からみて、普通のお家ではない可能性があり、その性格については検討中です。

\*写真：滋賀県提供

辻遺跡は栗東市<sup>でば</sup>出庭・辻の一带に広がる、縄文時代から近世にいたるまで続いた遺跡です。これまでの発掘調査で、遺跡の北半部を中心に古墳時代中期頃の玉作りや鍛冶<sup>かじ</sup>などの工房や渡来人との関係が深い土器がみつかり、古墳時代における地域の中心的な集落であったことがわかってきました。

平成29年度から発掘調査を実施しており、今回の調査地は遺跡南西部にあたります。調査では、古墳時代前期頃(約1700年前)の竪穴建物からなるムラがみつかりました。古墳時代前期頃の竪穴建物は、昨年度の調査でも確認していましたが、今回の調査でさらに北側でも確認でき、数棟の竪穴建物からなるグループが点在していたこともわかりました。また、昨年度の調査で確認していた大溝が、今回の調査でさらに北側へ延びていくこともわかりました。この溝は古墳時代後期から平安時代にかけて何度も掘り直されながら機能していた主要灌漑用水路の一つと考えられます。

いずれも、この地域で人々が繰り広げた活動の実態がうかがえる貴重な手がかりとなりました。

【裏面につづく】



◆写真2 見つかった大型の竪穴建物と大溝 手前に方形の竪穴建物が見えます。その後ろに大溝が調査区を横切っています。



◆写真3 大型の竪穴建物の床面で土器が出土した様子

大型竪穴建物の床面からは、土器（土師器：はじき）が多数出土しました。土器の特徴から古墳時代前期頃のものであることがわかり、竪穴建物の時期を推定することができました。



◆写真4 見つかった大溝

この大溝は昨年度の調査で確認したもので、今年度の調査区の大半で見つかりました。確認できた距離は約300mに達します。上流側と下流側にさらに延びるので、人工的に掘削された長距離用水路とみてよいでしょう。写真には2条の溝が見えますが、これは掘り直しのさいに、少し位置をずらして掘られたためです（左側の溝が古く、右側が新しい溝）。幅2m程度で、深さは約0.6～2mです。出土土器から古墳時代後期頃に最初の溝が掘削され、それ以降3回以上掘り直しがなされ、最終的には平安時代頃に機能を停止したようです。



◆写真5 見つかった竪穴建物

古墳時代前期頃の竪穴建物です。こちらは一辺約5mの通常クラスのものでした。床面には数か所に熱をうけて赤く変色した部分があり、炉跡と考えています。床面には柱穴が確認できました。

※写真はすべて滋賀県提供



【展示案内】 滋賀県立琵琶湖文化館地域連携企画展 滋賀県立安土城考古博物館第65回企画展

# 「伝教大師最澄と天台宗のあゆみ」



■2022年（令和4年）は、日本天台宗の宗祖伝教大師最澄が示寂して1200年の節目を迎えます。最澄が開いた天台宗の奥深い教義は多くの思想や高僧を生み、その後の多くの宗派の基礎となり、比叡山は日本仏教の母山と呼ばれます。

現在休館中の滋賀県立琵琶湖文化館は60年にわたる博物館活動の中で最澄や天台宗に関わる多くの文化財の寄託を受け、收藏してきました。本展では、伝教大師1200年遠忌を機に琵琶湖文化館が收藏する最澄に関わりある品々や天台宗の幅広い信仰を示す文化財を中心に公開します。



●紺紙金銀交書法華経（重要文化財）平安時代 大津市・延暦寺蔵  
紺紙に金字と銀字を交互に書写した金銀交書経で、見返しには、霊鷲山（りよじゅせん）を背景に釈迦説法図が描かれています。



●薬師如来立像（重要文化財）奈良時代  
大津市・聖衆来迎寺蔵  
右手で衣の端を握る非常に珍しい形式の薬師如来像です。

【開 期】 令和4年2月5日（土）～4月3日（日）

《前期》2月5日（土）～3月6日（日）

《後期》3月8日（火）～4月3日（日）

【開館時間】 9時～17時（入館は16時30分まで）

【休 館 日】 月曜日、3月22日（火）

※3月21日（月）は開館

【入 館 料】 大人600円、高大生360円、小中学生無料  
障害のある方および県内在住の65歳以上の方は無料（ただし証明書の提示が必要です）

【問 合 せ】 滋賀県立安土城考古博物館

〒521-1311

滋賀県近江八幡市安土町下豊浦6678

TEL:0748-46-2424 / FAX:0748-46-6140

URL <https://www.azuchi-museum.or.jp/>

【関連行事】

◆企画展関連博物館講座

令和4年2月27日（日）13時30分～15時

「最澄時代の仏像と天台の美術」

講師：和澄 浩介

（滋賀県立琵琶湖文化館学芸員）

参加費：300円 定員：50名

（往復はがきによる事前申込制、申込先着順）

※詳しい申込方法は開催約1か月前から安土城考古博物館HPにてお知らせします。

◆担当学芸員によるギャラリートーク

令和4年3月13日（日）13時30分～14時30分

参加費：無料（要企画展入館料）

※新型コロナウイルス感染症の状況により、やむなく会期を変更する場合があります。最新の情報は滋賀県立安土城考古博物館HPにてご確認ください。



◆『近江文化財本舗』営業中！

「ちょっと遠くて」、「都合が合わなくて」、と残念ながら博物館に行くことができなかった方に朗報です。滋賀県立安土城考古博物館の図録や公益財団法人滋賀県文化財保護協会の研究紀要がオンラインで購入することができます。

クレジット、コンビニ払い等ができますので、大変便利です。ぜひご利用ください。

近江文化財本舗

検索

<https://shiga-bunkazai.com/>

●本誌の掲載情報は令和4年1月1日現在の情報です。諸般の事情により内容が変更される場合がありますので、お出かけの際はご確認ください。



## ◆レトロ・レトロの展覧会「東山道を探る」

草津市黒土遺跡<sup>くろつち</sup>の発掘調査の成果速報展を開催しています。黒土遺跡では、以前に古代日本の大動脈のひとつであった東山道が見つかり、今回の調査地点はその隣接地にあたります。発掘調査では、奈良時代の大型建物や金属製品を製作した遺構や遺物などが出土しました。右の写真の炉壁もその代表的な例です。

古代の東山道沿いでの生業の一端を垣間見ることのできるような土器や金属生産に係る遺物などを写真パネルなどとともに展示しています。ぜひともご覧ください。



(写真：草津市教育委員会提供)

### ◆黒土遺跡出土炉壁

展示期間：令和4年3月31日まで 絶賛開催中！

## ◆史跡紫香楽宮跡出土遺物展示

現在、埋蔵文化財センターでは収蔵資料の公開を行っています。今回紹介する遺物は甲賀市信楽町黄瀬<sup>だいらのきゆうりょう</sup>・牧にある史跡紫香楽宮跡（推定甲賀寺跡・内裏野丘陵地区）から出土した軒丸瓦です。

右の写真の軒丸瓦の文様は、造東大寺司で製作されたとされる奈良平城宮出土の軒丸瓦と類似していますが、平城宮出土の瓦の弁が8葉であるのに対して、史跡紫香楽宮跡出土の瓦は6葉である点で違いがあります。この軒丸瓦は、瓦当（文様のある部分）の直径が約19.5cmで、平成16年～平成18年にかけての確認調査で出土した軒丸瓦の中で最も多く出土した軒丸瓦で、寺の創建時に作られた瓦と考えられています。この他にも軒平瓦も展示しています。

◇滋賀県埋蔵文化財センター  
開館時間：午前9時～午後5時（入館は4時30分まで）  
休館日：土・日・祝日・年末年始  
（12月29日～1月3日は休館）  
場 所：びわこ文化公園内滋賀県立図書館の東側  
（大津市瀬田南大萱町1732-2）



(写真：滋賀県提供)

### ◆史跡紫香楽宮跡出土軒丸瓦

展示期間：令和4年7月8日（金）まで

## 【セミナー案内】 文化財の活用を通じた地域資源化セミナー 6

# 『文化財の価値を活かす－民間事業者の視点から』

今年度の2回目のセミナーは、文化財の活用を民間事業者の立場から課題と展望について、講師・参加者と意見交換、討論をします。講師には、福井県若狭町熊川で一棟貸の宿泊施設を中心にまちづくりに参画している時岡氏、京都を拠点に独自の視点でガイドツアーを展開している以倉氏をお招きします。

開催日時：令和4年2月4日（金） 13：30～16：30

開催場所：大津市勤労福祉センター 5階 大ホール

講師：時岡壮太氏（株式会社デキタ）

八百熊川 [検索](https://yao-kumagawa.com/) <https://yao-kumagawa.com/>

以倉敬之氏（まいまいツアー）

まいまいツアー [検索](https://www.maimai-kyoto.jp/) <https://www.maimai-kyoto.jp/>

参加費：無料 / 定員：40名

※定員を越えた場合は抽選となります。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により、開催方法を変更する場合がありますのでご了承ください。

### 【申し込み方法】

- ①住所 ②氏名 ③連絡先
- ④セミナーに参加した理由
- ⑤講師に聞いてみたいこと ①～⑤を記入して

◆メールで申し込み somu@shiga-bunkazai.jp

◆FAXで申し込み 077-543-1525

※締め切り 令和4年1月26日（水）

### 【問い合わせ先】

公益財団法人滋賀県文化財保護協会

TEL：077-548-9780（平日8：30～17：00）